

平成 29 年度  
第 5 回理事会 議事録

日 時：9：30～平成 30 年 3 月 10 日(土)  
会 場：じょいあす新潟会館 カトレアの間  
司 会：星野副会長

1. 開会のあいさつ

田中会長

2. 報 告

事務局

(1)「新潟市 PTA 交流会」について【資料No.1】

資料参照。申込状況と当日の出席状況について報告を行う。例年以上に大勢の参加をいただくことができ、年々参加者数が増加傾向にある。ご協力に感謝申し上げたい。アンケート結果については、講演会の内容については、心響く感動があったという声が多かった。新潟大会に向けた実践発表については、概ね好評であったが、内容が重く、PTA 会長としての役割について考えさせられたという感想もあった。全体としては、時間が長く、休憩時間が短いという声が多かった。内容についても事件と事故を混乱しているという声もあり、本番に向けて改善点もあると思うので、今後検討していきたいと思う。

3. 協 議

(1) 各区 P 連の 29 年度の活動について【資料No.2】

各区 P 連理事

年度末報告の資料に沿って、各区から活動報告をしてもらう。

北区理事／来年度に向けた話し合いで、理事会等集まる機会が多かった。区 P 連研究大会は充実した内容で、300 名近い大勢の参加者をいただいた。日 P 新潟大会の動員についても、協力していきたいと思っている。

東区理事／懇親会から始まり、区 P 連研究大会、最後に引継ぎ会を行った。理事会についてもその都度行ってきた。区 P 連研究大会の講演講師の確井真史氏は大変好評だった。市 P 連から指導をいただき、区で決められないことを決める事ができて良かった。日 P 新潟大会については、30 年度の区 P 連会長も決まっており、次期会長が動いて、各校 2 名ずつ、区から 40 名を選出することも決まっている。

中央区理事／概ね好評であった。助成金が例年より大幅に増額だったので、繰越金が多くなった。来年度の会長・副会長については、既に決まっているのでスムーズに進められると思う。

江南区理事／研究大会当日は、悪天候に関わらず、170 名ほどの参加者をいただき、有意義な講演であった。学校行事などもあるので、会場の確保、人材確保が難しいので、もう少し早めの準備が必要だと思った。来年度の理事も決まっているので、日 P 新潟大会に向けて協力していきたい。

秋葉区理事／市 P 研究大会「秋葉区大会」を担当させていただいたが、事務局の仕事量が膨大で、小さい学校でこれだけの規模の会を開催するのは、なかなか大変だということだった。年 3 回会議を行った。日 P 新潟大会に関しては、3 月 7 日に担当部会を開催した。係の担当まで決定することができ、動員の方についても話をする事ができた。16 日に今年度最後の交流会を行う予定である。

南区理事／南区研究大会のフロアカーリング大会には、市 P 連から 2 チーム参加していただいた。3 月 13 日に三役会を行う。日 P 新潟大会の役員選出方法も事務局の先生から話していただくことになっている。「市 P 連研究大会南区大会」が 31 年に予定されているが、財源が厳しくなっている。助成金に依存する度合いがますます高くなると思われる。市 P 連に助成金のお願いができないことが想定されるが、子どもの数も少ないので、ご理解いただき、大会運営について必要な助成金をお願いしたい。研究大会については、30 年度に阿賀小の事務局から南区の事務局へ引

き継ぎを行う。

西区理事／区 P 連研究大会では、たる砧のオープニングの後に癒しの読みがたりを行っていただいた。研究大会の時期が遅いので、31 年度から早めの会場設定をしたいと思う。理事会全て完了し、来年度の役員への引き継ぎもスムーズにいつている。

西蒲区理事／区 P 連研究大会には、日赤の谷田健吾(やつだけんご)氏を講師にお願いした。日 P 大会に向けて、区の予算を残さなければならなかったが、謝礼は受取らないので、義援金としてお渡しした。1 月に第 2 回役員会、反省会を行った。まだ、各校の会長は決定していないが、西川中学校が今年の会長校に決まっている。3 月 28 日引き継ぎ、4 月 17 日に第 1 回の役員会を行う。

(2) 市 P 連の 29 年度の反省と 30 年度への展望【資料No.3】 田中会長

日 P 仙台大会、関ブロ群馬大会、市 P 連行事等にご協力いただきありがとうございました。反省として、6 月の東京学館での PTA 役員研修会の司会を直前にお願いして、時間のない中でご協力いただいたこと、感謝するとともに反省している。30 年度の展望としては、区 P 連、市 P 連の研究大会を実施せず、日 P 研究大会に全力を注ぎたい。財政負担になると思うが、参加費は区 P 連負担でお願いしたい。要請人数も当初 600 人だったのが 700 人、950 人と増えてきた。700 人を区で、残り 250 人分を市 P 連が負担したいと思っている。各区 40 名のスタッフをお願いしている。児童生徒数に応じて、参加要請人数をお願いしたい。分科会参加者は、10 会場のうち、少ない所へ分散していただきたい。佐渡への要請も 10 名ほどあるかもしれないが、旅費については実行委員会で負担させていただく予定である。24 日(金)の分科会前日の 23 日(木)には、レセプションがある。平成 31 年には、新潟市開催で「指定都市情報交換会」があり、16 指定都市から各 5 名ほどの参加者が集う予定である。

・日本 PTA 全国研究大会新潟大会について

南雲副会長(第 8 分科会)／交流会においてプレ発表という形で発表させていただいた。皆さんのご意見を基に校長会、実行委員長、副委員長で今後のあり方、改善案を検討している。22 頁参照。当初実践発表を中心に取り組みを考えていたが、日 P からの指導を含め、討議の進め方を変更した提案書になっている。碓井先生の基調講演の後に、実践発表(70 分を 45 分に縮める)、パネルディスカッションを取り入れる。パネラーから提言をしていただくという流れを考えている。中身については、論点から集約しながら、大会に向けて進めて行きたい。交流会の前に、第 2 回分科会実行委員会を行ったが、4 区ずつに分かれて、具体的にそれぞれの区が担うことを挙げさせていただいた。その業務にあたるメンバーの作業を進めていきたい。年度末で役員の交代もあると思うが、少し急いで準備を進めていただきたいと思う。

和氣副会長(特 2 分科会)／23 頁参照。領域が文科省協力なので、文科省と打ち合わせを行いながら計画を進めている。地域と学校のパートナーシップ事業についてのパネルディスカッションを中心に行う。これまでの、学校を支援するということから地域協働活動へ、地域と保護者が一体になって動いて行こうという組織運営になる。ワールドカフェ形式で 850 名を見込み、交流を深めてもらう。日 P でも、来年度から各ブロック大会でもこの形式で行こうという計画があるようだ。新潟が初めての試みなので、小学校長会の先生方からご協力いただき、是非全国の皆さんから満足して頂けるものにしたいと考えている。これから本格的にスピードを上げて、準備を進めて行きたい。

(3) その他

・平成 29 年度会計決算報告【資料No.4】

事務局

一般会計決算書の収入の部で、広告宣伝料が予算額入っていないのは、安全互助会の広告を載せた広報紙が、配付されてからの入金になるためである。支出の部で、今後の支出予定の内容については、25 頁を参照。特別会計決算書の内容を確認、積立基金の収入 20 万円は一般会計から移したものである。退職積立金に関しては、日 P 大会の財政負担の為、一般会計からの入金はしなかった。

今年度日 P に関わる経費は、新潟市 3 分の 1、県 3 分の 2 の負担になっている。交流会の経費増に関しては、講師講演料、PR 活動のステージ等の設置額による増額である。事務費の増額は、会議に関わる印刷費の増額、事務消耗品費の増額はコピー用紙代、通信費は PC リース代(以前の PC 不具合の為)、予備費は、国内研修旅行の交通費補助によるものである。

・平成 30 年度の予算概要【資料No.5】

事務局

日 P 新潟大会への参加要請人数が 950 人に変更になった。実際に参加いただくのは、700 人と考えており、参加費は区での負担をお願いしたい。残りの 250 人分の参加費については、市 P 連で負担したいと考えている。予算負担分が自己財源として 200 万円から 280 万円に上がったが、県の会計担当からは 200 万円で収まるようにするという事だった。30 年度の行事等を削れるものは削って、予算を組んでいる。積立基金から 170 万円を大会運営費として移したいと思う。日 P 大会経費について、日 P 大会・関ブロ大会の参加費 125 万円と旅費の 80 万円になる。旅費の内容は、長岡会場までのバス代 12 台の予算になる。安全互助会の補償制度事務手数料が 7 月に 6 掛けで振り込まれる予定なので、今年並みの金額を市 P 連から振り込む予定である。残りは 11 月に振り込まれる。

4. 諸連絡

事務局

・30 年度市 P 連事業・会議等予定表一覧

30 頁、31 頁を参照。前回と変更なし。

・小中学校の様子について

小学校長理事／小学校長会の連携部という組織で、PTA との連携についてアンケートを行った。PTA 業務を学校の職員だけで賄っている学校が、40 数パーセントになっている。会議のための資料印刷や案内、連絡等を多忙の中で行っている。PTA とは、親と教職員の会であり、どちらかだけが負担するのではなく、これからのあり方を単 P で考えていかなければならないと思う。お仕事をお持ちの中で、大変でしょうが、保護者の皆さまからも、少しずつ分担できることをご協力いただけると有り難いと思う。

中学校長会理事／交流会でのプレ発表、ありがとうございました。時間を短縮しながら、より精度を上げた発表を目指したいと思う。

中学校長会理事／財政予算関係の要望書をまとめる仕事をしているが、新潟市の財政が大変ひっ迫しており、来年、再来年とますます厳しくなっていくと思われる。そうなった時に、市は何をするか、学校はどうするか、学校と保護者との役割分担を考えて行かないと、多忙化解消につながっていかないのではないかと思います。今後とも、保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思う。

5. 閉会のあいさつ

南雲保子副会長

<第 1 回理事会のご案内>

日 時：平成 30 年 5 月 26 日(土)

午前 9：30～

会 場：じょいあす新潟会館 カトレアの間

